

# 金融と経済を考える

# 高校生小論文

# コンクール



金融広報中央委員会は  
全国の高校生・高等専門学校生・  
高等専修学校生等を対象に  
「金融と経済を考える」小論文を  
募集しています。  
みなさんがふだん考えていること、  
調べたことなどをまとめて  
ご応募ください。



## 特選5編 (賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞 / 文部科学大臣賞 / 日本銀行総裁賞 / 全国公民科・社会科教育研究会会長賞 / 金融広報中央委員会会長賞

## 秀作5編 (賞状と奨学金2万円)

佳作30編 (賞状と図書カード6千円分)

学校賞(特選受賞者在籍校)5校 (賞状と図書カード1万円分)

〔主催〕金融広報中央委員会

〔後援〕金融庁、文部科学省、日本銀行、全国公民科・社会科教育研究会、公益財団法人全国商業高等学校協会、全国家庭科教育協会、日本私立中学高等学校連合会





テーマは、金融や経済に関することであれば、どのようなものでも構いません。テーマを考える際の参考として、テーマの例を以下に示します。ただし、この中から選ぶ必要はありません。自分が書きたいと思う内容を、自由に考えてみてください。テーマを決めた後、作品の内容にふさわしいタイトル(題)をつけてください。

#### ◆テーマの例

##### 1. あなたのライフプランと働くことについて

あなたは将来どんな職業に就き、どのような仕事に携わりたいですか。希望をかなえるためには、今後何をすべきでしょうか。手に職を付ける、会社で働く、起業するなど、社会に出て働く姿を想像して、あなたのライフプランを資金計画も含めて組み立ててみましょう。

##### 2. 日本のこれからを考える

現在の日本経済には、少子高齢化の進展、労働力人口の減少、政府債務残高の増大、若年層を中心とする雇用問題など、様々な問題があるといわれています。また、新興国の経済力の高まりなどを背景に、海外との関わりも変化しています。これからの日本はどのような経済社会を目指すべきでしょうか。具体的な問題とその克服に向けたアイデアを中心に、あなたの考えをまとめてみてください。

##### 3. 日本経済を活性化する将来有望な産業とは

新エネルギーの利用や、環境に優しいエコ商品、ユニバーサルデザイン、あるいはゲームやアニメなどのコンテンツ産業等、新たな経済活動が活発になってきています。観光や特産品による地域おこしなど、地方を活性化させようとする動きも全国各地で見られます。あなたが注目する産業について、その特徴をまとめ、将来有望であるとする理由を述べてみましょう。

##### 4. 消費者としてのルール

ものを買う、サービスを利用するなど、消費者として行動する際に、あなた自身やあなたの家族で決めているルールはありますか。また、消費者トラブルに巻き込まれないためにどうすればよいと思いますか。2022年4月に成年年齢が18歳に引き下げられることも踏まえつつ、なるべく具体的に、ルールを紹介したり、あなたの考えをまとめてみてください。

## 第17回「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール 募集要項

【応募資格】 高校生、中等教育学校生(後期課程)、高等専門学校生(3年生まで)、高等専修学校生

【賞】 ●特選 5編(賞状と奨学金5万円)

金融担当大臣賞/文部科学大臣賞/日本銀行総裁賞/全国公民科・社会科教育研究会会長賞/金融広報中央委員会会長賞

●秀作 5編(賞状と奨学金2万円)

●佳作 30編(賞状と図書カード6千円分)

●学校賞(特選受賞者在籍校) 5校(賞状と図書カード1万円分)

【締め切り】 2019年9月20日(金)※消印有効

【発表】 12月中旬頃、金融広報中央委員会ホームページ(<https://www.shiruporuto.jp/>)などで発表。

【送付先】 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 5F 毎日企画サービス

金融広報中央委員会コンクール事務局「金融と経済を考える」高校生小論文コンクール係

※インターネットの専用サイトからも応募できます。下記アドレスに接続し、画面の指示に従って

応募フォームにより送信してください。 <https://www.ron2019.jp/>

【問い合わせ先】 金融広報中央委員会コンクール事務局 TEL.03-6265-6818(土・日・祝日を除く10時~17時)

金融広報中央委員会コンクール作品募集ホームページ <https://www.ron2019.jp/>



## 小論文指導にあたり、先生方から生徒たちへ伝えていただきたいこと。

金融教育は、現実の社会の中で生きていくために必要な金融・経済などの知識や、お金を適切に取り扱う態度を身に付けることなどを目的としています。この金融教育は「生活設計・家計管理」「金融や経済の仕組み」「消費生活・金融トラブル防止」「キャリア教育」の4つの分野に分けて整理することができ、「生きる力」の育成にもつながります。小論文を書くにあたっては、生徒たちへ上記のテーマの例などを参考に、事実関係やデータを調べて自分の考えを論じるようご指導ください。

金融広報中央委員会とは?

「金融広報中央委員会」(事務局:日本銀行情報サービス局内)は、都道府県金融広報委員会、政府、日本銀行、地方公共団体、民間団体等と協力して、国民に対し中立・公正な立場から「金融経済情報の提供」と「金融経済学習の支援」を行っている団体です。

# 自分の将来のために、いま考えよう！

次代を担う高校生にとって、金融や経済について考えることは、これから社会とどう関わって生きていくのかにつながる大きなテーマです。同世代の仲間の考えを聞き、自らの思いを語り、将来の姿を描いてしっかり歩んでいきたいですね。金融広報中央委員会は、高校生の皆さんに、「金融と経済を考える」小論文を募集します。昨年は、全国から3,061点の作品が寄せられ、60点が入賞作品に選ばれました。あなたも、自分の将来のために、金融や経済について、いま考えてみませんか。



## 第16回 受賞作品の紹介 (2018)



過去の入賞作品はこちらでご覧いただけます。

[https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours\\_ronbun/](https://www.shiruporuto.jp/education/contest/container/concours_ronbun/)

### 金融担当大臣賞

「暮らしやすさ」と「税」

鳥取県 鳥取県立倉吉東高等学校 1年  
杉浦 公祐さん

**作品の内容** 筆者が子ども時代を過ごしたスウェーデンでは、教育、医療、介護がほぼ無償で、財政収支の均衡もとれています。対して社会保障の自己負担が大きく、財政が赤字続きの日本。両国の税収システムを比較しながら、日本の現状を放置する限り税収は増えないと指摘。保育士などの処遇の差にも目を向けて、スウェーデンは「今の日本を暮らしやすくするヒントになり得る」と結びます。「税だけでなく、国や社会のあり方についても高い視点から考察できている」と評価されました。

**受賞者の声** 経験を積むことは重要ですが、経験を元に考えることは、より重要です。今回、小論文を書きながら、身近にありながら意識することの少ない経済というもの、自身の生活経験と結びついていくように感じ、自分の思考ルーツを知ることができたように思います。

### 文部科学大臣賞

平等な社会

東京都 東京都立国際高等学校 2年  
平 真央さん

**作品の内容** 筆者は、以前住んでいたブラジルで「貧富の差」を実感し、「恵まれた人が貧富の差をなくさなければいけない」と考えます。他方、高校2年の夏にボランティア活動で訪れたフィジーでは、村人たちは貧しくも幸せそうでした。この経験から、それぞれの国・地域の事情を踏まえた援助のあり方が大切で、それが「世界中の誰もが自分らしく過ごせる平等な社会」につながると提言します。「人々が幸福になるためには何が必要かを掘り下げて考察している」と評価されました。

**受賞者の声** ブラジルとフィジーでの経験を通して感じた「平等って何だろう？」という疑問に対して、自分なりの考えを書かせていただきました。これからは色々なことを経験し、視野を広げ、将来は世界の子どものための教育のための仕事をしたいと思っています。

### 日本銀行総裁賞

起業という道

東京都 東京都立国際高等学校 2年  
中村 生さん

**作品の内容** 夏休みに「起業」をテーマとする高校生キャンプに参加した筆者は、「起業は問題解決の方法である」「高校生が起業することに意味がある」と学びます。そして、「若いからこそ、見落とされがちな現代の問題に気づくことができ、新しい解決法を形にできる」と考えます。将来、教育関係で起業する道を模索し始め、社会のさまざまな問題に対し、起業という形で、柔軟で強力な「特効薬」を生み出していこうと決意します。審査員は「学びのプロセスが丁寧に書かれている」と評価しました。

**受賞者の声** 作品を読む大人の方々に、「高校生には元気が力が沢山あるんです！」ということを感じたいと思い、高校生の起業というテーマで書きました。また、この作品には、自分の将来の夢について書いてあるので、自分自身への決意文として大切にしたいです。

### 全国公民科・社会科教育研究会会長賞

食から始める未来への投資

愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校 4年  
池内 陽さん

**作品の内容** 筆者は、全国に広がる「子ども食堂」を公共事業化し、地域の高齢者との交流の場も兼ねること、そして貧困家庭に食材を届ける「子ども宅食」を並行して実施することを提案します。「食」を充実させることで、子どもの健康と学力向上、ひいては貧困の脱却につながると考え、「日本全体に良い影響をもたらすかもしれない」と結びます。「『子ども食堂』だけでなく『子ども宅食』にも注目して提言している。高校生らしい視点に好感をもった」と評価されました。

**受賞者の声** 子ども食堂の数は年々増えていますが、運営者の趣旨が理解され難く、低所得者の家庭と思われたくないと考える人も多いのが現状です。この小論文を機に子ども食堂が「地域における多世代の交流の場」として、広がってほしいと思います。

### 金融広報中央委員会会長賞

四方よし

福岡県 福岡県立小倉高等学校 2年  
畠中 遥子さん

**作品の内容** 筆者が夏休みに研修でベトナムを訪れた際、地元・北九州市が現地で水道事業の支援を行っていることを知り、「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)の事業だと考えます。さらに、世界の貧困の解決策として、「作り手よし」を加えた「四方よし」を提案し、発展途上国の生産者に対する売り手、買い手の意識改革が必要で、エンカール消費が大切と強調します。「SDGsに繋がるエンカール消費等を『四方よし』の四つ目に加えてうまくまとめている」と評価されました。

**受賞者の声** これまで考えてきたことを評価していただきとても嬉しいです。今、世界はUNSDGsの達成に向けて動いていますが、貧困はまだ大きな問題です。「四方よし」の世界を実現するために、様々なことを学び、具体案を考え、実践に移していきたいです。

### 秀作

人のいないレジスター  
愛知県 愛知県立一宮商業高等学校 1年  
奥村 琴音さん

初めての投資  
京都府 同志社女子高等学校 1年  
池内 凜々子さん

人間だってディーラーニング  
広島県 広島市立基町高等学校 1年  
岡 涼巴さん

日本人と「働き方改革」  
千葉県 国府台女子学院高等部 2年  
児島 紫苑さん

綿あめが教えてくれたこと  
東京都 中央大学高等学校 3年  
銅住 有紗さん

### 学校賞

東京都 東京都立国際高等学校  
鳥取県 鳥取県立倉吉東高等学校  
愛媛県 愛媛県立松山西中等教育学校  
福岡県 福岡県立小倉高等学校

第16回  
審査員  
(敬称略)

天野 晴子(日本女子大学教授) 松島 斉(東京大学大学院教授) 山田 真哉(公認会計士・税理士) 三浦 知宏(金融庁総合政策局総合政策課総合政策監理官)  
濱野 清(文部科学省初等中等教育局視学官) 大山 敏(全国公民科・社会科教育研究会会長) 中川 忍(日本銀行情報サービス局長)  
吉國 真一(金融広報中央委員会会長)

